

RIC BTEアクセサリ一脱着方法●

〈耳せん&レシーバ・耳せん&チューブ〉

RICレシーバ・チューブ・耳せんの種類と形状

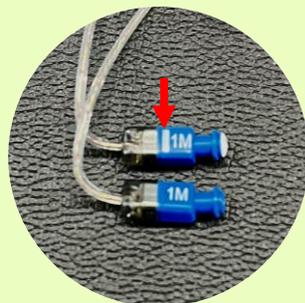
● RIC用



SDS6.0レシーバ
インフィニオシリーズ
(S/M/P)



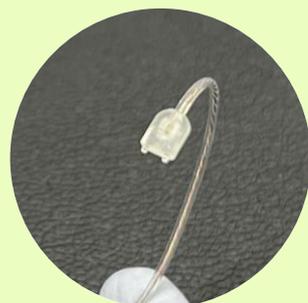
SDS4.0/5.0レシーバ
マーベル・パラダイス・ルミティ
テラ(S/M/P)



上 SDS5.0 ※ライン有り
下 SDS4.0 ※販売終了



SDS3.0 xレシーバ
ビロングシリーズ以前
(標準 S / パワー P)



クロスチューブ
4.0/5.0/6.0



クロススリムチューブ

● BTE用



スリムチューブ4.0
マーベルシリーズ以降



スリムチューブα
ビロングシリーズ以前



ジョイントチューブ

● RIC/スリムチューブ用耳せん



SDS4.0 耳せん
(SDS4.0/5.0/6.0レシーバ対応)



※外耳道が細い方などへ使用

- 左 キャップ型
- 左中 オープン型 (S/M/L)
- 右中 ベント付き (S/M/L)
- 右 パワー型 (S/M/L)



SDS3.0 耳せん (SDS3.0レシーバ対応)

- 左 オープン型 (S/M/L)
- 中 クローズ型 (S/M/L)
- 右 パワー型 (S/M/L)

RICレシーバの脱着方法

● SDS5.0 / SDS4.0 / SDS3.0レシーバ

※写真はSDS4.0レシーバ

治具をピンに合わせる 左右どちらかへ1mmスライド レシーバを抜く

端子挿入口を確認し、
レシーバを装着した後ピンを元に戻す

取り外し治具

● Bシリーズ以前の13電池タイプレシーバ

レシーバのくぼみ くぼみに治具を掛け
1mm手前に引く 1mmの隙間を開けながら抜く
※カバーを外すことは出来ません

端子挿入口を確認し、
レシーバを装着した後カバーを元に戻す

RIC 取り外し治具

● SDS6.0/スリム/ライフレシーバ

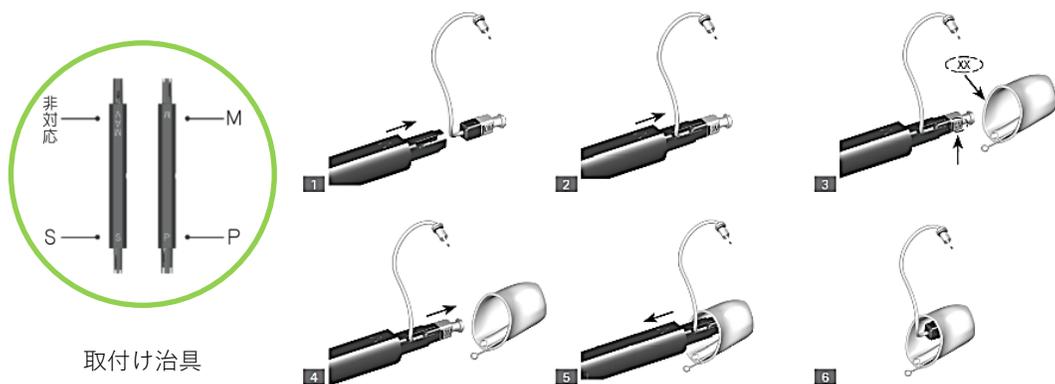
SDS6.0レシーバは4ページの注意点参照

レシーバの根元を持ちそのまま抜く

端子挿入口を確認し、レシーバを装着する
上記写真のように挿入できたか確認

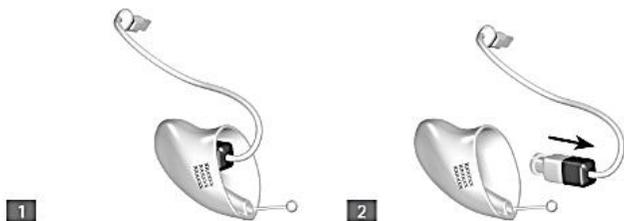
スリムチップ4.0/6.0脱着方法とレシーバ6.0取付け注意点

● スリムチップ装着方法



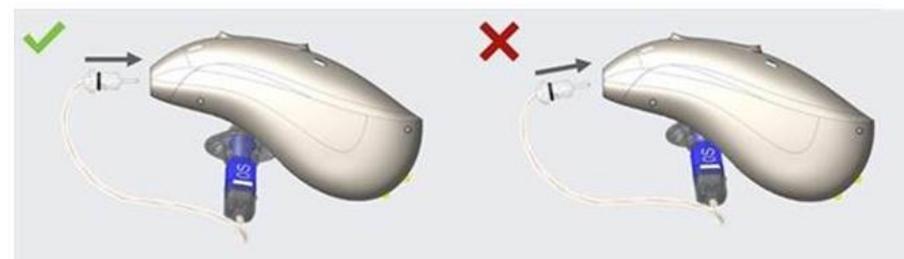
● スリムチップ取り外し方法

スリムチップ4.0/6.0を取り外す場合は
レシーバの根元をしっかりと指でつまみ
引き抜きます。



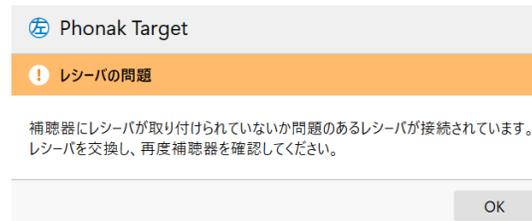
● SDS6.0レシーバの取り付け注意点

レシーバ6.0は8ピンのポート構造です。
装着時は本体に対してまっすぐに挿入します。



【注意】

レシーバを上方向に挿入すると、補聴器レシーバポートが損傷する可能性がありますので注意して挿入してください。
破損状態でTargetに接続すると下記のポップアップが表示されます。



BTEイヤフック・スリムチューブの脱着方法

● BTE(耳かけ型)



イヤフックはネジ式



反時計回りで取り外し



時計回りで取り付け※

● スリムチューブ



スリムチューブはネジ式



反時計回りで取り外し



時計回りで取り付け※

● 耳せん・ジョイントチューブの取り付け

BTE補聴器をジョイントチューブで使用する
場合、ジョイントチューブL字先端に既成耳
せんを装着させ、もう片方を イヤフックに
取り付けます。

イヤフック・スリムチューブは時計回りに
回転させて装着します。※左図確認



耳せん、レシーバ、ジョイントチューブ、
イヤフックがしっかりと取り付けられている
か確認します。



※耳せんを裏返して撮影